

エビイモの直植え栽培の検討

エビイモは育苗してから植え付けるのが通常ですが、当研究所では省力化のために種イモを直接ほ場に植え付ける栽培技術を検討しています。水稻育苗器で芽出しを行った種イモを3月下旬から4月下旬にかけて黒マルチ被覆をしたほ場に植え付け、孔の開いた透明ポリフィルムの浮き掛けによる保温を行ったところ、5月には本葉が数枚開き生育が進みました。今後は生育調査及び収穫調査を行い、最適な植え付け時期や芽出しの程度等を明らかにします。



浮き掛けによる保温



4月23日に直植えしたエビイモの生育状況
(5月27日撮影)